

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	セルフブランディング		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	セルフブランディング	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	非該当	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。(自己啓発、リーダーシップ、価値観、目標達成など) また、卒業生や外部協力企業に依頼してオリジナルコンテンツを作成し、視聴する。						
到達目標						
学生自身が、その手にしっかりと「自分の人生のオール」を持ち、漕いでいくために、自分のブランドを知り、自分が目指すのはここだ！という「羅針盤(コンパス)」を設定できるようなコンテンツを、オンデマンド学習システム「Schoo Swing」の動画群の中から抜粋し、視聴する。						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	◆学ぶ理由・学び方 「やる気の源泉」が習慣を変える／凡事徹底とは何か(20分)／学習がづらいのは「やり方を知らない」から／「心の本音」がやる気を育てる ／自己成長はどうやったら実感できるの？／やる気より、「感覚」と「仕組み」に頼る					
【前期】 9～13回目	◆自己理解 心と向き合い、感情を整理する習慣／自ら動いてもっとワクワク働こう／やりたいことを見つけるセルフコーチング／内省 キャリアの方向性を考える					
【前期】 14～19回目	◆さまざまな学び 「ほめ上手」と「ゴマすり」って何が違う？／NLPを知ってポジティブになろう／本気で変わりたい人の行動イノベーション					
【後期】 20～24回目	◆さまざまな思考 自己肯定感と自己効力感の違いって？／負の感情を前に進む力に変える／なぜポジティブのほうが目標達成しやすいのか？					
【後期】 25～33回目	◆リーダー・チーム 「集合知性」がチームでの成果をつくる鍵／内向型リーダーの強みを発揮するヒント／個人と組織のパフォーマンスを最大限に引き出す方法					
【後期】 34～38回目	◆まとめ・振り返り 「観・在り方」主導のキャリア／チャンスをつかみ取る人の習慣／ブレない自分をつくる7つの問い／先送りをなくす未来の自分デザイン					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考	各動画については、レポートを課す。①今回の動画で印象に残った言葉は？②今回の動画を視聴して、明日から行動することを具体的に1つあげてください。③今回の動画の感想は？ 一方的な動画視聴で終わらないように、担当教務からのフィードバックを全体に行っている。					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	一般教養講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	一般教養講座		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/舞台製作コース/企画制作コース/ レコーディングコース/PA&レコーディングコース/アーティストスタッフコース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	音楽専門誌の記者を経て、東京未来大学こども心理学部・特任准教授として教鞭をふるう。 現在は音楽教育の場におけるコミュニケーションのあり方をテーマに研究中。					
授業概要						
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。						
到達目標						
社会人としての基礎的スキルの習得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～6回目	ガイダンス 受講方法と1年間の授業内容 仕事を想定したEメールの使い方:メールの基本、設定、送受信、アドレス帳の活用、署名の作成					
【前期】 7～12回目	他者に伝える説明:時系列で説明する、情報を整理(グループ分け)して説明する、話を要約して説明する、主観と客観を区別して説明する、指示の手順を考えて説明する					
【前期】 13～18回目	文章の書き方:「話し言葉」と「書き言葉」を区別して書く、5W1Hの要素を組み込んで書く ビジネス文書:ビジネスメールを送信する、ビジネス文書の種類を知る、社内文書の書式と文章作成					
【前期】 19～24回目	コミュニケーション論:コミュニケーションの考え方、言語コミュニケーション(対人/メディア/言葉の言い換え/リフレーミング/説得)・非言語コミュニケーション(表情、視線、傾き、相づち/他者との距離、パーソナル・スペース)					
【後期】 25～31回目	敬語表現:敬語の分類を知る/尊敬語・謙譲語の使い方、間違いやすい敬語、実践・仕事でよく使う敬語					
【後期】 32～38回目	履歴書の書き方:基本データ、自己PRと志望動機 心理学講座:自分を知る、社会からの影響、他者との関わり					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	色彩講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	色彩講座	年次	1・2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	照明コース/音楽スタッフ総合コース/舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	テレビ番組制作関連業務などを経て、2006 年から店舗ディスプレイ業務に従事。その経験を活かし、企業や専門学校でディスプレイと色彩講師を務める。また、企業向けに販売促進のための色彩活用セミナーを実施。商業施設や小売店の売り場づくりのカラーコンサルティングにも携わる。					
授業概要						
照明・映像・デザインといった専攻科目に共通して必要な色彩知識について学ぶ。						
到達目標						
色彩検定3級の取得を目標とする。						
授業計画・内容						
【前期】 1～3回目	【色を活用するための基礎知識】トーンの仕組みを理解する。トーンの種類と分類、色の表示方法					
【前期】 4～6回目	【色彩心理】色の心理的効果/インテリアにおける色の心理的効果/色の連想と象徴/色相と関係する配色イメージ 【光と色】色はなぜ見えるのか/照明と色の見え方/目のしくみ/混色					
【前期】 7～10回目	【検定対策】検定問題の傾向と解き方、模擬試験					
【前期】 11～14回目	【パーソナルカラー】基礎知識、自分の色素を知る。 似合う色をドレーピングで知る。パーソナルカラーの取り入れ方					
【後期】 15～18回目	【CUD(カラーユニバーサルデザイン)】CUDの基礎知識/職場の安全に役立つ色の使い方/色を見分けやすくするポイント					
【後期】 19～22回目	【CUD(カラーユニバーサルデザイン)】色覚の多様性に対応する/カラープランニングの方法					
【後期】 23～26回目	【ライブハウス、CDショップなどで活用するPOP・看板のカラーコーデ＆デザイン					
【後期】 27～30回目	販促物や掲示物のカラーコーディネート デザインソフトを使用したフライヤー作成					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ステージ演出概論		授業形態 / 必・選	講義	必修
	学則上表記	ステージ演出概論		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置コース	照明コース/舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	コンサート、テーマパーク、演劇などさまざまな分野を網羅するため、複数人の講師が入れ替わり担当します。				
授業概要					
コンサートや舞台など、さまざまなエンターテインメントにおける演出の基礎を学び、照明・音響・美術の役割や表現方法を理解する。実例を通して空間演出の発想力と現場視点を養う授業。					
到達目標					
事例分析を通して演出の効果や構造を読み解き、現場における各セクションの連携と制作プロセスを理解する					
授業計画・内容					
【前期】 1～3回目	コンサート演出の基礎知識 演出家の役割と制作チームの構造				
【前期】 4～6回目	ライブイベントの種類と演出の目的 ステージ演出の歴史				
【前期】 7～10回目	各セクションの演出基本 ・照明 ・音響				
【前期】 11～14回目	各セクションの演出基本 ・映像(LED,プロジェクション) ・特殊効果				
【後期】 15～18回目	舞台美術・セットデザインの考え方 衣装・小道具の演出の関係				
【後期】 19～22回目	各種エンターテインメントの演出分析				
【後期】 23～26回目	各種エンターテインメントの演出分析				
【後期】 27～30回目	各種エンターテインメントの演出分析				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	制作ワーク		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	制作ワーク	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	8単位
科目設置コース	企画制作コース/舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大手レコード会社にて宣伝やアーティスト担当業務に従事。その後、プロダクション業務を経て、現在はフリーランスでマネージメント、プロモーション委託、イベント制作委託を請け負っている。					
授業概要						
コンサート・ライブ制作の基本を重点に多くの事を学んでいきます。						
到達目標						
コンサート・ライブ・イベント制作におけるスムーズな進行・管理・運営を目指す						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	舞台用語を学ぶ					
【前期】 6～10回目	イベントの組み方を知る 出演者ブックイングについて					
【前期】 11～19回目	予算について学ぶ プロモーションについて					
【前期】 20～28回目	SNSプロモーションについて 資料作成(タイムテーブル・セッティング図など)					
【後期】 29～36回目	企画ライブに向けて準備作業					
【後期】 37～44回目	企画書・タイムテーブル・セッティング図等 資料作成					
【後期】 45～52回目	イベントの実施・反省					
【後期】 53～60回目	1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PC実習 I		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	PC実習		年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	30回(60単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置コース	PAコース/照明コース/ローディーコース/舞台製作コース/企画制作コース/レコーディングコース/PA&レコーディングコース/音楽スタッフ総合コース□			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。					
授業概要						
通常業務でよく使用されている「Word」「Excel」「Illustrator」についての解説、操作実習。 フライヤー・WEBプロモーション時における情報管理の徹底、SNSの取り扱いについて						
到達目標						
音楽業界で必要とさせる「Word」「Excel」「Illustrator」の3つのソフトの基本的な操作方法。 就職してからすぐに役立つ技術の修得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～4回目	iMacの電源の入れ方 各種アカウントの設定 Macの基本操作の確認					
【前期】 5～8回目	【Word】 Wordの使用方法 タイピング練習を兼ねた文字入力					
【前期】 9～12回目	【Excel】 簡単な計算 タイムテーブル作成					
【前期】 13～16回目	【イラストレーター導入】 基本ツールの説明 図形描画、色付け、最前面、最背面					
【後期】 17～20回目	【ペンツール】 直線を描く/スムーズポイント/コーナーポイント 直線から曲線への変化					
【後期】 21～24回目	・パスの修正の仕方 ・整列設定(等間隔)・回転、移動等 ・ペンツール総合問題					
【後期】 25～28回目	Excelによる計算法 Excelによる精算書作成					
【後期】 29～30回目	課題提出 1年間の総まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台制作実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	舞台製作実習Ⅰ－Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置コース	舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。					
授業概要						
舞台業界標準となっている図面アプリケーション「VectorWorks」を使用し、図面の基本・基礎を学ぶ。						
到達目標						
舞台図面の作成技術の向上・各図面から細部にわたる情報の読み取り方の取得。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	＜業界基礎知識＞ ライブに関わるさまざまな業種/各業種の仕事内容					
【前期】 6～10回目	＜舞台基礎知識＞ 尺貫法/舞台用語/ライブ1日のながれ/舞台演出、舞台機構/舞台図面/各セクション基礎知識/特効・レーザー					
【前期】 11～19回目	舞台進行について タイムテーブル作成 Vectorworks基礎講座					
【前期】 20～28回目	譜割り・曲順表作成 Vectorworks基礎講座					
【後期】 29～36回目	立ち位置、スミ出し、ロープワーク等 進行表作り Vectorworks基礎講座					
【後期】 37～44回目	企画ライブに向けてVectorworks実践講座					
【後期】 45～52回目	企画ライブに向けて各種資料作成 (タイムテーブル・進行表・譜割り・曲順表・図面等)					
【後期】 53～60回目	1年次に学んだことの復習・まとめ					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台製作実習Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	舞台製作実習Ⅰ－Ⅱ		年次	1年次
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	60回(120単位時間)	年間単位数 4単位
科目設置コース	舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大道具会社～舞台監督経験を経て、フェスやイベントの舞台進行に従事。				
授業概要					
大道具作業教室にて工具を使用して製作物の技術力を高める。 MACを使用してタイムテーブルの作成					
到達目標					
舞台監督／大道具／舞台スタッフとしての基本の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	舞台基礎用語 機材の運び方 ロープの縛り方				
【前期】 6～10回目	＜工具の使い方＞ ナグリ・パール・インパクト・ノコギリ等				
【前期】 11～19回目	山台施工方法 パネルの繋げ方 スリングの使い方				
【前期】 20～28回目	前期試験対策				
【前期】 29～36回目	ソレノイドの仕込み～曲に合わせて実践 パネル吊り				
【後期】 37～44回目	舞台監督／進行／ライブの一日の流れ				
【後期】 45～52回目	立ち位置／バミリ／導線／ケーブル養生				
【後期】 53～60回目	後期試験対策 ライブイベントのセットの製作				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					